様式第３号

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	809	課コード	0704	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策　□経常　□なし

１．事業の概要(PLAN)

(1)事業概要	①事業名	基本事業	公園維持管理	実施計画への位置づけ	●有　○無
		個別事業	公園のバリアフリー化推進	②部課名	都市部・公園緑地課
	③事業主体	●市　○その他（　）		④対象地区	□我孫子　□天王台　□湖北　□新木　□布佐　■全市
	⑤事業期間	平成28年度　～　平成30年度		⑥担当職員数	3 人　（換算人数　0.25 人）
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0 千円	当該(開始)年度	（当　初）42,187 千円　（うち人件費　2,200 千円） （変更後）千円　（うち人件費　千円）
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点２
		基本計画地区別計画への位置づけ	○有　●無	部門別計画への位置づけ	（計画名）
(2)目的	施策目的・展開方向	公園・緑地が持つ機能に配慮し、市内に残る貴重な樹林地や城跡、古墳などの歴史的・文化的資源を活用しながら、市街地で公園が不足している一部の区域において公園の整備を検討します。また、誰もが安心して利用できるよう公園のバリアフリー化を進めるとともに、主要公園における遊具の充実を図り、子どもたち		事業目的	安全・安心な公園とするため、適正な公園管理を行なう
(3)事業内容	内　容	誰もが安心・安全に公園を使用できるよう出入口や園路等のバリアフリー化の修繕工事を行い、快適な大規模公園となるよう適正な維持管理を行う。		当該年度執行計画	・布佐南公園のバリアフリー化工事を実施設計に基づき実施する。 ・事業を行うにあたっては、公共施設等適正管理推進事業債を活用する。
				当該年度活動結果指標	布佐南公園のバリアフリー化工事の完了　単位：件　想定値：1　実績値：

(4)達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	指標種類	指　標	単位	(5)現況値	(6)目標値
当該年度	市民が安全かつ安心して利用できる公園として、大規模公園のバリアフリー整備をする。	直接	バリアフリー化修繕工事による快適な大規模公園数	箇所	10	12
令和 2年度	市民が安全かつ安心して利用できる公園として、大規模公園のバリアフリー整備をする。	直接	バリアフリー化修繕工事による快適な大規模公園数	箇所		12
令和 3年度	市民が安全かつ安心して利用できる公園として、大規模公園のバリアフリー整備をする。	直接	バリアフリー化修繕工事による快適な大規模公園数	箇所		12

(7)事業実施上の課題と対応	公園利用者が子ども中心から高齢者の憩いの場としての利用も増えてきているため、段差解消などのバリアフリー化がより必要となっている。	代替案検討	○有　●無

(8)施行事項	平成30年度		平成31年度			令和 2年度		令和 3年度	
	政策 内　容	金額(千円)	政策 内　容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策 内　容	金額(千円)	政策 内　容	金額(千円)
実施内容	＊ 天王台西公園バリアフリー整備工事	35,081	＊ 布佐南公園バリアフリー整備工事	39,100		バリアフリー未実施公園の調査	0	バリアフリー未実施公園の調査	0
	＊ 布佐南公園バリアフリー整備工事	34,950	＊ 工事に係る資材価格調査業務委託	387					
	＊ 工事に係る資材価格調査業務委託	696	＊ 便所新築工事監理業務委託	500					
	【６月補正】布佐南公園バリアフリー整	△34,950							
費　用 予算(決算)額	合　計	35,777	合　計	39,987		合　計	0	合　計	0
(9)財源内訳 国庫支出金	補助率 50 %	13,000	補助率 0 %	0		補助率 0 %	0	補助率 0 %	0
県支出金	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0		補助率 0 %	0	補助率 0 %	0
起債	充当率 90 %	15,400	充当率 90 %	32,400		充当率 0 %	0	充当率 0 %	0
一般財源		7,377		7,587			0		0
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0		□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0
(10)人件費等 換算人数(人)		0.25		0.25			0.25		0.25
正職員人件費		2,200		2,200			2,200		2,200
嘱託職員報酬額		0		0			0		0
臨時職員賃金額		0		0			0		0
事業費(予算(決算)額＋正職員人件費)		37,977		42,187			2,200		2,200
(11)単位費用（事業費／活動結果指標）		37,977千円／件		42,187千円／件					

２．事業の評価(DO+CHECK)

評価項目	事　前　評　価	事　後　評　価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））	改善検討
必要性 (1)事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	誰もが安心・安全に公園を使用できるよう出入口や園路等のバリアフリー化の修繕工事を行い、快適な大規模公園となるよう適正な維持管理を行う。	○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由／想定どおりでなかった原因＞	○要 ○不要
必要性 (2)市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できない （理由）■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ＜その他の内容＞ ○②自治体である市が推進すべきである （理由）□市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他 ＜その他の内容＞	□①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 ＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞ ＜その他の内容＞	○要 ○不要
参加・協働の工夫 市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容： ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 工夫の具体的な内容： ＜その他の内容＞ 該当なし	実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容） 参加・協働の程度・内容： ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 ＜期待した以上となった理由／期待以下であった原因＞	○要 ○不要
環境への配慮 環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点： □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 取組む内容： ＜その他の内容＞ 基礎及び路盤材として使用する砕石は、再生材を使用する。	実施した具体的な内容 環境への配慮： ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった ＜想定どおりでなかった原因＞	○ 要 ○ 不要
効率性 (1)目標設定は適切か？	現況値(a)(箇所)：10 目標値(b)(箇所)：12 目標値の妥当性のチェック： □①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である	達成状況：実績値(f)(箇所)：　達成率(%)(f/b×100)： ○①目標値達成 ○②目標値未達成 ＜目標を達成した理由／未達成となった原因＞	○要 ○不要
効率性 (2)事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減： 事業費(c)(千円)：42,187 事業費削減額(d)(千円)：△4,210 事業費削減率(%)：△11.09 実施予定の対策： ■①国・県助成制度活用 □②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤ＰＦＩ等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他 ＜削減の内容＞	実施状況：実績値(g)(千円)：　対事業費(%)(g/c)×100： ○①想定事業費未満 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 ＜超過理由等＞ 事業費の削減対策について： ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった ＜想定どおり削減できなかった原因＞	○要 ○不要
効率性 (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)：0　単位：箇所　費用単位：10万円 計算方法： ○①単年度の指標：目標値×費用単位／事業費 ●②複数年度の指標：(目標値－現況値)×費用単位／事業費	達成状況：実績値(h)：　対目標値(%)(h/e)×100： ○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 ＜目標値以上となった理由／目標値以下であった原因＞	○要 ○不要

３．事後評価

○現状どおり推進　○拡充　○縮小　○結合　○休止　○廃止　○事業手法見直し　○その他(事業完了など)

評価	評価コメント	改善策及び展開方向

様式第３号

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	716	課コード	0602	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策　□経常　□なし

１．事業の概要(PLAN)

(1)事業概要	①事業名	基本事業		実施計画への位置づけ	●有　○無
		個別事業	駅構内バリアフリー施設等の整備・支援		
	②部課名	建設部・交通課			
	③事業主体	●市　○その他（　）		④対象地区	□我孫子　□天王台　□湖北　□新木　□布佐　■全市
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	5 人　（換算人数　0.73 人）
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	45,010 千円	当該(開始)年度	（当　初）25,424 千円　（うち人件費　6,424 千円） （変更後）千円　（うち人件費　千円）
	⑧施策の位置づけ	施策コード	63403	重点プロジェクトへの位置づけ	重点３
	基本計画地区別計画への位置づけ	○有　●無	部門別計画への位置づけ	（計画名）	
(2)目的	施策目的・展開方向	誰もが安全で快適に駅施設を利用できるよう、新木駅では、自由通路を整備し、駅南口・北口にエレベーター・エスカレーターを設置するとともに、我孫子駅と天王台駅では、自由通路の整備を検討します。また、駅構内のエレベーターの設置を支援します。		事業目的	東日本旅客鉄道(株)が実施する駅構内のバリアフリー化・安全対策を支援することで、駅を利用する多くの市民の利便性向上及び安全に繋がる。
(3)事業内容	内　容	○我孫子駅のバリアフリー化 ・駅ホームにエレベーターが無い我孫子駅について、東日本旅客鉄道(株)東京支社と協議し、必要な支援（負担金等）を行う。 ○我孫子・天王台駅のホームドア設置支援 ・駅利用者の転落防止のため、東日本旅客鉄道（株）が整備するホームドアに関して、支援の方法を検討する。		当該年度執行計画	４月～３月　我孫子駅構内エレベーター実施設計業務（ＪＲ実施） ※協定締結の上、市としてエレベーター整備に必要となる経費を負担（支援）する。 我孫子・天王台駅のホームドア整備支援の検討
				当該年度活動結果指標	我孫子駅ラッチ内ＥＶ実施設計進捗率　単位：% 想定値 100 実績値

(4)達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	指標種類	指　標	単位	(5)現況値	(6)目標値
当該年度	我孫子駅ラッチ内ＥＶ基本設計進捗率	直接	当該年度設計進捗率	%	100	100
令和 2年度	我孫子駅ラッチ内ＥＶ等工事進捗率	直接	当該年度工事進捗率	%		100
令和 3年度	我孫子駅ラッチ内ＥＶ等工事進捗率	直接	当該年度工事進捗率	%		100

(7)事業実施上の課題と対応	代替案検討
我孫子駅構内のＥＶ設置については、市民の多くが求めるものであることから、自由通路整備計画と切り離し、ＪＲ東日本と協力し、先行して整備することを検討していく。また、我孫子駅・天王台駅のホームドアに関しては、整備後の効果を考慮し、支援を検討していく。	○有　●無

(8)施行事項	平成30年度 政策	内　容	金額(千円)	平成31年度 政策	内　容	予算額(千円)	決算額(千円)	令和 2年度 政策	内　容	金額(千円)	令和 3年度 政策	内　容	金額(千円)
実施内容	＊	我孫子駅構内エレベーター等設備設置		＊	我孫子駅構内エレベーター等設備設置			＊	我孫子駅構内エレベーター等設備設置	0	＊	我孫子駅構内エレベーター等設備設置	0
費　用	＊	基本設計負担金	7,666	＊	実施設計負担金	19,000		＊	工事負担金：未定 （ＪＲとの設計協議により算出）	0	＊	工事負担金：未定 （ＪＲとの設計協議により算出）	0
	＊	設計総額：23,000千円×1/3		＊	設計総額：57,000千円×1/3			＊	我孫子・天王台駅ホームドア整備支援	0	＊	我孫子・天王台駅ホームドア整備支援	0
				＊	我孫子・天王台駅ホームドア整備支援	0							
予算(決算)額	合　計		7,666	合　計		19,000		合　計		0	合　計		0

(9)財源内訳		平成30年度		平成31年度			令和 2年度		令和 3年度	
	国庫支出金	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0		補助率 0 %	0	補助率 0 %	0
	県支出金	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0		補助率 0 %	0	補助率 0 %	0
	起債	充当率 0 %	0	充当率 75 %	14,200		充当率 0 %	0	充当率 0 %	0
	一般財源		7,666		4,800			0		0
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0		□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0
(10)人件費等	換算人数(人)		0.73		0.73			0.73		0.73
	正職員人件費		6,424		6,424			6,424		6,424
	嘱託職員報酬額		0		0			0		0
	臨時職員賃金額		0		0			0		0
事業費(予算(決算)額＋正職員人件費)			14,090		25,424			6,424		6,424
(11)単位費用（事業費／活動結果指標）		140.9千円／%		254.24千円／%						

２．事業の評価(DO+CHECK)

評価項目		事　前　評　価	事　後　評　価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））	改善検討
必要性	(1)事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	我孫子駅のラッチ内ＥＶ整備は、市民の多くが早期実現を望む事業であり、市としても市民生活向上のため、東日本旅客鉄道（株）に対して積極的な支援を行っていく必要がある。また、ホームドアについては、近年、ホームから線路への落下事故が増えていることを考慮し、整備主体であるJR東日本に支援を行っていく必要がある。	○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由／想定どおりでなかった原因＞	○要 ○不要
	(2)市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	○①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できない （理由）□法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ＜その他の内容＞ ●②自治体である市が推進すべきである （理由）□市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される ■市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他 ＜その他の内容＞	□①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 ＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞ ＜その他の内容＞	○要 ○不要
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？（体制づくり）	参加・協働の内容：○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 工夫の具体的な内容： ＜その他の内容＞ バリアフリー施設の整備手法は法令等により限定されたものとなっているため、市民の参加は難しい。	実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）： 参加・協働の程度・内容：○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 ＜期待した以上となった理由／期待以下であった原因＞	○要 ○不要
環境への配慮	環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点：□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 取組む内容： ＜その他の内容＞ 該当なし	実施した具体的な内容： 環境への配慮：○①想定どおり ○②想定どおりでなかった ＜想定どおりでなかった原因＞	○ 要 ○ 不要
効率性	(1)目標設定は適切か？	現況値(a)(%)：100 目標値(b)(%)：100 目標値の妥当性のチェック：■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である	達成状況：実績値(f)(%)： 達成率(%)(f/b×100)： ○①目標値達成 ○②目標値未達成 ＜目標を達成した理由／未達成となった原因＞	○要 ○不要
	(2)事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減：事業費(c)(千円) 25,424；事業費削減額(d)(千円) △11,334；事業費削減率(%) △80.44 実施予定の対策：□①国・県助成制度活用　□⑤ＰＦＩ等民間資本の活用 □②現有体制での対応　□⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施　■⑦その他 □④民間委託 ＜削減の内容＞	実施状況：実績値(g)(千円)： 対事業費(%)(g/c)×100： ○①想定事業費未満 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 ＜超過理由等＞ 事業費の削減対策について：○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった ＜想定どおり削減できなかった原因＞	○要 ○不要
	(3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)：0.39　単位：% 費用単位：10万円 計算方法：●①単年度の指標：目標値×費用単位／事業費 ○②複数年度の指標：（目標値－現況値）×費用単位／事業費	達成状況：実績値(h)： 対目標値(%)(h/e)×100： ○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 ＜目標値以上となった理由／目標値以下であった原因＞	○要 ○不要

３．事後評価

○現状どおり推進　○拡充　○縮小　○結合　○休止　○廃止　○事業手法見直し　○その他(事業完了など)

評価	評価コメント	改善策及び展開方向

様式第３号

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	1829	課コード	0602	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策　■経常　□なし

１．事業の概要(PLAN)

(1)事業概要	①事業名	基本事業		実施計画への位置づけ	○有　○無
		個別事業	我孫子市地域公共交通協議会運営（市民バスの運行）		
	②部課名	建設部・交通課			
	③事業主体	●市　○その他（　）		④対象地区	□我孫子　□天王台　□湖北　□新木　□布佐　■全市
	⑤事業期間	平成29年度　～		⑥担当職員数	5 人　（換算人数　0.66 人）
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	54,006 千円	当該(開始)年度	（当　初）58,831 千円　（うち人件費　5,808 千円）
					（変更後）千円　（うち人件費　千円）
	⑧施策の位置づけ	施策コード	63402	重点プロジェクトへの位置づけ	重点４
	基本計画地区別計画への位置づけ	○有　●無	部門別計画への位置づけ	（計画名）	
(2)目的	施策目的・展開方向	市民が快適に通勤・通学や日常生活に必要な移動ができるよう、駅や各施設への重要な交通手段であるバス路線の延長など、地域住民や公共交通事業者と連携し、バス輸送力と利便性の向上を図ります。また、市域東側の新たな公共交通として、シャトルバスの導入について市内バス事業者等と協議していきます。		事業目的	地域が育み誰もが安心・安全・快適に利用できる公共交通を確立する。 既存公共交通を補完する市民バスを運行する。
(3)事業内容	内　容	○地域公共交通協議会の運営 ・我孫子市の公共交通等の発展を目指した連携計画に代わる新たな公共交通のあり方の検討。 ・バス通行における安全性と地域の実情に沿ったあびバス運行方法の検討。 ・公共交通の利用促進等の新たな交通政策の検討。 ○市民バスの運行 ・地域が育み誰もが安心・安全・快適に利用できるあびバスの運行。 ・バス老朽化等への対応策検討 ○新たな公共交通（シャトルバス等）の運行支援 ・民間事業者が主体となる新たな公共交通実現に向けた支援。		当該年度執行計画	４月～３月　あびバス運行（年中無休） ４月～３月　我孫子市地域公共交通協議会開催（２～３回） ４月～３月　新たな公共交通のあり方検討 ４月～３月　ユニバーサルデザインタクシー導入支援
				当該年度活動結果指標	あびバス・ふれあいバス（市内バス停）利用者数　単位：人　想定値 210,000　実績値

(4)達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	指標種類	指　標	単位	(5)現況値	(6)目標値
当該年度	あびバス各路線の課題を整理し、安心・安全でより地域に沿った運行形態とする。	直接	あびバス・ふれあいバス（市内バス停）利用者数	人	210,158	215,000
令和 2年度	あびバス各路線の課題を整理し、安心・安全でより地域に沿った運行形態とする。	直接	あびバス・ふれあいバス（市内バス停）利用者数	人		225,000
令和 3年度	あびバス各路線の課題を整理し、安心・安全でより地域に沿った運行形態とする。	直接	あびバス・ふれあいバス（市内バス停）利用者数	人		225,000

(7)事業実施上の課題と対応	代替案検討
バスの台数や運行費用の関係で、地域のすべてのニーズに応えることは難しい。特に運行ルートによっては利用者が少ないため、運行経費の削減にも努めなくてはならない。こうした状況を地域の方に理解していただき、協力を得ていく必要がある。	○有　●無

(8)施行事項

	平成30年度		平成31年度			令和 2年度		令和 3年度	
	政策	内　容	金額(千円)	政策	内　容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内　容	金額(千円)
実施内容 費　用		委員報償費	179		委員報償費	179			委員報償費	179
		我孫子市地域公共交通協議会負担金			我孫子市地域公共交通協議会負担金				我孫子市地域公共交通協議会負担金	
		協議会運営費			協議会運営費				協議会運営費	
		・需用費	20		・需用費・事務費	70			・需用費・事務費	70
		・事務費	70		・役務費	100			・役務費	100
		・役務費	20		・旅費	4			・旅費	4
		・旅費	4		・交通意識調査	1,000			・交通意識調査	1,000
		・あびバス等運行調査・研究費	1,000		・運転免許返納者優遇制度	480			・運転免許返納者優遇制度	480
		アンケート郵送費	105	＊	・ユニバーサルデザインタクシー支援	600			・ユニバーサルデザインタクシー支援	300
		・運転免許返納者優遇制度	480	＊	・シャトルバス運行開始に向けた協議	0		＊	・シャトルバス運行事業	10,000
	＊	・シャトルバス運行開始に向けた協議	0		印西市コミュニティバス負担金	4,144			印西市コミュニティバス負担金	4,144
		印西市コミュニティバス負担金	4,076		市民バス運行業務委託				市民バス運行業務委託	
		市民バス運行業務委託			・新木地区	14,131			・新木地区	14,131
		・新木地区	13,861		・船戸・台田地区	5,423			・船戸・台田地区	5,423
		・船戸・台田地区	5,283		・栄・泉・並木地区	6,933			・栄・泉・並木地区	6,933
		・栄・泉・並木地区	6,212		・布施地区	10,790			・布施地区	10,790
		・布施地区	11,461		・根戸地区	9,139			・根戸地区	9,139
		・根戸地区	9,329		土地賃借料	30			土地賃借料	30
		土地賃借料	30							
予算(決算)額		合　計	52,130		合　計	53,023			合　計	62,723
国庫支出金		補助率　0 %	0		補助率　0 %	0			補助率　0 %	0
県支出金		補助率　0 %	0		補助率　0 %	0			補助率　0 %	0
起債		充当率　0 %	0		充当率　0 %	0			充当率　0 %	0
一般財源			52,130			53,023				62,723
その他の財源		□特会 □受益 □基金 □その他	0		□特会 □受益 □基金 □その他	0			□特会 □受益 □基金 □その他	0
換算人数(人)			0.66			0.66				0.66
正職員人件費			5,808			5,808				5,808
嘱託職員報酬額			0			0				0
臨時職員賃金額			0			0				0
事業費(予算(決算)額＋正職員人件費)			57,938			58,831				68,531
(11)単位費用（事業費／活動結果指標）			0.28千円／人			0.28千円／人				

２．事業の評価(DO+CHECK)

評価項目	事　前　評　価	事　後　評　価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））	改善検討
必要性 (1)事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	公共交通等により市民の移動における利便性を確保することは重要な施策であり、既存交通の発展や新たな交通手段・対策を検討し展開するためには、識者・交通事業者・市民・警察・国交省などが参加する我孫子市地域協議会で審議し、適正な方法を決定していくことが必要です。既存交通を保管するあびバスの運行方法についても、法令上、同協議会で検討していくことが最善となります。	○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由／想定どおりでなかった原因＞	○要 ○不要
必要性 (2)市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	●①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できない （理由）□法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他 ＜その他の内容＞ ○②自治体である市が推進すべきである （理由）□市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他 ＜その他の内容＞	□①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 ＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞ ＜その他の内容＞	○要 ○不要
参加・協働の工夫 市民の参加や市民との協働を工夫しているか？（体制づくり）	参加・協働の内容：○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ●⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 ＜その他の内容＞ 工夫の具体的な内容：市民、公共交通事業者、行政等から構成される我孫子市地域公共交通協議会で協議し、運行ルート等の検討を行っている。	実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容） 参加・協働の程度・内容：○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 ＜期待した以上となった理由／期待以下であった原因＞	○要 ○不要
環境への配慮 環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点：□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 ＜その他の内容＞ 取組む内容：公共交通を推進することによって、CO2の削減に貢献している。	実施した具体的な内容 環境への配慮：○①想定どおり ○②想定どおりでなかった ＜想定どおりでなかった原因＞	○ 要 ○ 不要
効率性 (1)目標設定は適切か？	現況値(a)(人)：210,158 目標値(b)(人)：215,000 目標値の妥当性のチェック：■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である	達成状況：実績値(f)(人)／達成率(%)(f/b×100) ○①目標値達成 ○②目標値未達成 ＜目標を達成した理由／未達成となった原因＞	○要 ○不要
効率性 (2)事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減：事業費(c)(千円) 58,831／事業費削減額(d)(千円) △893／事業費削減率(%) △1.54 実施予定の対策：□①国・県助成制度活用　□⑤ＰＦＩ等民間資本の活用 □②現有体制での対応　□⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施　■⑦その他 □④民間委託 ＜削減の内容＞	実施状況：実績値(g)(千円)／対事業費(%)(g/c)×100 ○①想定事業費未満 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 ＜超過理由等＞ 事業費の削減対策について：○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった ＜想定どおり削減できなかった原因＞	○要 ○不要
効率性 (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)：365.45 人 単位：人　費用単位：10万円 計算方法：●①単年度の指標：目標値×費用単位／事業費 ○②複数年度の指標：(目標値－現況値)×費用単位／事業費	達成状況：実績値(h)／対目標値(%)(h/e)×100 ○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 ＜目標値以上となった理由／目標値以下であった原因＞	○要 ○不要

３．事後評価

○現状どおり推進　○拡充　○縮小　○結合　○休止　○廃止　○事業手法見直し　○その他(事業完了など)

評価	評価コメント	改善策及び展開方向